

令和7年10月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,842億円（対前年同月比5.3%の増加、比率ベース：7カ月ぶりの増加）、輸入総額は1,155億円（同6.6%の増加、2カ月連続の増加）であった。差引額は687億円（同3.3%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「原動機」、「金属鉱及びくず」などは減少したものの、「二輪自動車類」、「自動車の部分品」、「重電機器」などが増加した。

輸入は「アルミニウム及び同合金」、「有機化合物」などは減少したものの、「液化天然ガス」、「がん具及び遊戯用具」、「魚介類及び同調製品」などが増加した。

地域別では、輸出は「EU」「アジア」が増加、「アメリカ」は減少した。輸入は「アジア」「アメリカ」「EU」が増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,842億円	+5.3%	1,155億円	+6.6%	687億円	+3.3%
	7カ月ぶりの増加		2カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1)二輪自動車類	190億円	+23.1%	輸入	増加品目	(1)液化天然ガス	93億円	+52.5%		
		(2)自動車の部分品	164億円	+27.6%			(2)がん具及び遊戯用具	32億円	4.3倍		
		(3)重電機器	71億円	+26.9%			(3)魚介類及び同調製品	173億円	+10.9%		
	減少品目	(1)原動機	220億円	▲15.3%		減少品目	(1)アルミニウム及び同合金	21億円	▲38.3%		
		(2)金属鉱及びくず	2億円	▲79.1%			(2)有機化合物	36億円	▲22.1%		
		(3)有機化合物	7億円	▲45.9%			(3)プラスチック	34億円	▲13.5%		
	主要地域 増減	EU、アジアが増加、アメリカは減少				主要地域 増減	アジア、アメリカ、EUが増加				

（参考）ドルレートは、149.51円（前年同月比2.5%、3.64円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	9億円	▲7.1%	23億円	▲22.7%	▲14億円	▲30.1%
	2カ月ぶりの減少		5カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 精油・香料及び化粧品類	2億円	3.6倍	輸入	増加品目	(1) 石炭	7億円	全増
		(2) 写真用・映画用材料	4億円	+38.9%			(2) 有機化合物	5億円	+10.3%
		(3) 糖類及び同調製品・はちみつ	61百万円	3.2倍			(3) 金属製品	12百万円	全増
	減少品目	(1) 金属鉱及びくず	88百万円	▲73.4%	輸入	減少品目	(1) 木材及びコルク	—	全減
		(2) 電気計測機器	—	全減			(2) 無機化合物	—	全減
		(3) 自動車の部分品	10百万円	▲46.8%			(3) パルプ	2億円	▲14.7%
	主要地域 増 減		アジア、アメリカが減少、EUは増加					アメリカ、アジアが減少、EUは増加	

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	458億円	+25.0%	47億円	2.3倍	411億円	+19.0%
	2カ月連続の増加		11カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	237億円	+16.0%	輸入	増加品目	(1) 自動車	18億円	1,187倍
		(2) 自動車の部分品	91億円	+38.5%			(2) 木材及びコルク	97百万円	191倍
		(3) 原動機	12億円	+74.1%			(3) 金属製品	26百万円	9.7倍
	減少品目	(1) 楽器	24億円	▲16.0%	輸入	減少品目	(1) 鉄鋼	6億円	▲40.5%
		(2) —	—	—			(2) 有機化合物	1億円	▲56.6%
		(3) —	—	—			(3) 木製建具及び建築用木工品	1億円	▲22.5%
	主要地域 増 減		アジア、EUが増加、アメリカは減少					アジア、EUが増加、アメリカは減少	

4. 静岡空港

輸出入実績なし